

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	大曲校		
○保護者評価実施期間	令和6年12月2日		～ 令和6年12月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23名	(回答者数) 23名
○従業者評価実施期間	令和6年12月16日		～ 令和6年12月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	教育及び保育等の現場を経験している職員が揃っている為 お子さまの気持ちの汲み取りや発達の見取りが適切である こと。 また、学習支援につながる情報収集を行っていること。	表情、しぐさ、発声等、様々なお子さまの姿から関わった 指導員が報告をする。それを踏まえ、職員間で情報共有し 支援プログラムへと反映させている。	個別支援計画及び専門的実施計画立案の際は、お子さま の姿と共にご家族様の気持ちを十分に組み入れた計画と なるよう定期的または必要に応じて会議をしていく。
2	お子さま及びご家族様の思いを受容し、全職員で捉え、様々な 提案、支援の提供を一緒に考えていくことができる温かな教室 の雰囲気作りができていること。	職員が各自、内部研修や外部研修に参加している。	一層、質の高い支援を提供できるよう、職員が各自、自己研 鑽を積み重ねていく。
3	地域で育つお子さまへ、様々な情報提供ができる、地域との連 携が図れていること。	地域の機関との連携。 ・大仙市児童支援部会への定期的な参加。	担当者会議等を継続又は回数を増やし、お子さまが通われて いる学校等との連携を図っていく機会をもつ。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	全身のバランスを捉え、発達を促すことが必要とされるお子さ まがいらっしゃるが、粗大遊びを取り入れた活動がやや少ない こと。	スペースが狭いため同時間帯に利用されているお子さまに影響 を与えてしまうことがある。	理学療法士を中心に職員間で研修をする。 (限られたスペースで行える動作アプローチの仕方等) 利用時間の調整をその都度ばかり、2ブースを使用し、支 援できるようにする。
2	SNS等での情報発信を増やす必要がある。	作成担当を決めてはいるが、作成時間の確保が困難なことが多 かった為。	イベント等の案内のみならず、日々の様子やトピックス等を 定期的な発信していく。
3	小集団活動の回数を増やしていく必要がある。	個別支援による伸びが見られ、コミュニケーションの力が高 まっているお子さま、コミュニケーションを課題とされている お子さま方へのステップ向上を図れるような時間帯等の調整が 行えていない。	月に2回程度時間調整を図り、小集団活動を実施していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 大曲校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 2024年 12月 2日 回収数 23

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	6	2	1	・もう少し広ければよいと思う。 ・せまい	・ご不便をおかけしております。 2ブースを1ブースとし、できる限りスペースの確保ができるように努めてまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	21	1	0	1		・配置基準を満たしております。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	6	0	1		・今後、必要に応じて検討してまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	3	0	0		・一層、清潔で快適な生活空間を保てるよう、徹底してまいります。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22	0	0	1		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22	0	0	0	※無記入 1	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20	1	0	2		・スモールステップで支援する事で、固定化しているプログラムもごございますが今後は、様々な視点が活動に取り入れられるように工夫をしてまいります。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	7	3	3	10	・まだ通所期間が短いため。	・今後、交流を含め、訪問等を検討してまいります。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	4	0	9	・まだ通所期間が短いため。	・職員がペアレントトレーニングを学ぶ機会を確保しています。また他事業所で開催されているペアレントトレーニングの情報をリーフレットでご案内させていただいております。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	23	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	1	0	2		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	4	1	11	・通所期間が短いため。	・定期的にイベントを開催しております。兄弟児さんにおいては、今後検討してまいります。
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	0	0	2			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	2	1	6	・通所期間が短いため。	・ご家族様へのフィードバックの内容の充実を図っております。またSNS等での発信回数を増やしていけるよう改善いたします。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22	0	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	1	0	2		・毎月訓練を行っております。 (火災、地震、水害、不審者)
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	1	0	6		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21	0	0	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	2	0	3		・ご不安なお気持ちにさせてしまい申し訳ございません。事故等があった場合には、速やかにご家族様にご連絡を取り状況を説明させていただきます。また、関係機関（市役所等）にも報告いたします。また今後の再発防止における研修を事業所内で行います。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	23	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	21	2	0	0		・今後もお子さまが楽しみながら活動できる方法を考えてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	23	0	0	0		・ご回答ありがとうございます。今後もお子さまが楽しみに通っていただけるような支援プログラムの提供に努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	大曲校		公表日		2025年 2月 15日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	・お子さまの活動内容により、2ブースを1ブースとしてを行う必要があり、時間帯の配慮を要する為、工夫しております。	・安全に体を動かせるスペースの確保をし、使用する教材、教具も多い為ゆったりと活動できる環境作りに努めてまいります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1		・ご家族様方からのご意見や関係機関からのご意見等を職員間で共有し、速やかに改善できるよう努めてまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・お子さまの姿を職員間で共有し、専門的でポイントをおさえた支援ができるようにサービス担当者会議を実施しております。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・同じ目標設定であっても、お子さまの興味に応じて、楽しく活動できる内容を提供しております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	1		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1	・地域サポートセンターや他事業所、また教育委員会等、関係専門機関との連携を図っています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	2		・コロナウイルス感染防止の為、地域との交流が少ない状態でしたが、今後交流の機会を考えております。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	0		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1		・相談援助としての家族支援は行っております。ペアレントトレーニング等に関しては、他事業所等で開催される研修会をリーフレット等でご案内しております。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0			
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0			
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	1		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	1		・HPやブログ、LINEやインスタグラム等で公開しております。一層、発信の回数を増やせるよう努めてまいります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	0		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		・毎月行い、必要に応じて更新しております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		・毎月行い、必要に応じて更新しております。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		・毎月行い、必要に応じて更新しております。また、法定研修として定期的に研修を受けております。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		・緊急連絡先を記入し、連絡帳に入れていただいております。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		・対応職員が時系列で詳細を記入し、職員間で対策、改善について話し合う機会を持っています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		・毎年、法定研修として研修を受けています。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0			